



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 2月27日：

ITUが宇宙産業との協力を強化

ITU to strengthen collaboration with space industry

ワシントンDCでのSatellite 2008 Conference and Exhibiton
で事務総局長が表明

Secretary-General addresses Space Business Round
Table in Washington D.C.

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/NP02.html)

トゥーレITU事務総局長が、ワシントンDCで開催された“Washington Space Business Round Table: Looking forward to Space”で講演した。宇宙最初の人工物、ロシアのスプートニクの打ち上げから50年がたち、人工衛星は世界的な電気通信の大きな柱となった。

同事務総局長は、無線周波数の世界的な使用に取り組み、ICTセクターの迅速な技術開発と成長によって加速されたスペクトラムの世界的な需要を満たすため、昨年秋ジュネーブで開催された世界無線通信会議（WRC-07）の結果を概説し、大要以下のように述べた。

衛星通信がグローバルコミュニティを助ける

いわゆるデジタル・ディバイドを解消するため、遠隔で孤立させられたコミュニティの通信へアクセスを提供する際に衛星通信の役割が重要である。

ミレニアム開発目標と世界情報社会サミットによって設定された目標を達成する期限である2015年まで残り7年しかなく、接続プロセスを加速する必要がある。

宇宙産業の役割は接続アクセス目標を達成するために非常に重要で、世界の人々の安寧にも寄与することになる。

今後の方向性

宇宙産業と緊密に協力し宇宙研究と調査用の新しい周波数分配、気象のアプリケーション、海洋学のモニタリング、275～3000GHz間の受動サービスの将来開発などWRC-11へ向けて準備し、今後様々な宇宙関連の研究にITUは従事する。

② 3月7日：

自動車産業の環境問題改善にはICTの標準化が必要

ICT standards needed to green automotive industry

ITUがICTと自動車を結びつける

ITU brings ICTs and auto worlds closer

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/02.html)

ジュネーブ自動車ショーの期間中、3月5～7日にITU、ISO、IECの共催によるシンポジウムFully Networked Carが開かれた。本イベントで、国際自動車連盟（FIA）のF-1運営組織の長であるMax Mosley氏は、「安全性の向上や環境への悪影響を緩和するため自動車へのICT導入を進めるべきであり、そのためにも標準化を一層推進すべきである。また、F-1で使われているICTには、燃費向上や排出ガスのモニタのほか、レーサーとピットクルーとの間に300チャンネルにも及ぶ膨大な通信システムがあり、F-1競技以外にも広く応用できる可能性がある」と述べた。参加した専門家の多くは、テレマティクスとITSによってどのくらい炭酸ガスの排出量を削減できるかという点に興味を示していた。ITUは、FIT-CAR（From/In/To Cars Communication）フォーカスグループによる活動や自動車関連の電気通信標準に関するアドバイザリーパネル（ASPC TELEMov）を設けるなど、自動車関連の標準化活動を推進している。また、ITUはICTと気候変動にかかわるシンポジウム（(1) 日本政府主催、4月15、16日に京都（日本）で開催、(2) BT主催、6月17、18日にロンドン（イギリス）で開催）も開く予定である。

③ 3月10日：

ITU テレコム・アフリカ2008

ITU TELECOM AFRICA 2008

急発展のICT産業により変動するアフリカ

Africa on the move with a booming ICT Industry

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/03.html)

ITU TELECOM AFRICA 2008が、5月12-15日まで、エジ



プトのカイロで開催され、5,000～6,000人のビジターが、ICTやテレコム市場を調査するためこのイベントを訪れることとなる。

Alcatel-Lucent、Ericsson、ERTU、Etisalat、Huawei Technologies、KT、Telecom Egypt、ZTEなどの企業が出展するほか、アフリカの地理的な位置、そのユニークな市場の潜在力、効果的な市場環境を保持するのに重要な要素、などについて講演が行われる。

セッションは、官民のパートナーシップ、起業家としてのサクセスストーリー、人材育成やサイバーセキュリティなどをトピックに行われる。

4日間のテーマは次のとおり。

今日のアフリカ：最先端技術

ダイナミックなアフリカ：需要の原動力と革新

ダイナミックなアフリカ：将来のために提携する
先頭に立つアフリカ

④ 3月13日：

電気通信インフラを共有すべき

Telecommunication regulators promote infrastructure sharing

**第8回世界規制体シンポジウム、成功事例ガイドラインを承認
8th Global Symposium for Regulators agree on best practice guidelines**

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/05.html)

3月13日、タイのパタヤで開かれていた第8回世界規制体シンポジウム (GSR-08) が閉幕した。今回は、ICT業界への投資やICT業界の発展を促すための手段として、インフラ資源の共有を推進する規制措置の成功事例が注目を集めた。96か国から約600人が参加し、電気通信やICTの発展が目覚ましい国々の規制体の方法に高い関心が集まった。主な成果は、以下のとおり。

・ブロードバンドアクセスの実現を推進するために、以下の制度項目に対する成功事例を組み合わせることで合意：料金/資源の有効利用/周波数の共用/免許/非排他的・公正中立な相互接続/情報共有における透明性/電気・ガス・水道・下水・鉄道など他のインフラ制度との

整合性

・シンポジウムのテーマはSix Degrees of Sharing：Innovative Infrastructure Sharing and Open Access Strategies to Promote Affordable Access for All emphasizes;

1. Basic and Passive infrastructure sharing, 2. Open access to international capacity, 3. Business-sharing regulation, 4. Active infrastructure sharing, 5. End-user sharing, 6. Policy and regulatory harmonization

⑤ 3月17日：

**ザンビアでの洪水被災者の救援と再建のため通信を再接続
Zambia flood victims re-connected to aid relief and reconstruction**

ITUが衛星通信ターミナルを展開

ITU deploys satellite communication terminals

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/06.html)

ITUは、ザンビアの低地で発生した洪水による重要な通信回線へのダメージのために25の衛星通信ターミナルを展開した。

36,000人の住民が孤立し、19地区のほぼ400,000人が影響を受けた。被災者の多くはMonze (西部州)、Mumbwa (中央部州)、Mkushi (中央部州)、Mazabuka (南部州)とKafue (ルサカ州)に居住している。合計3,418軒の家と44の学校が激しい洪水で崩壊した。また、洪水が道路と通信回線を破壊し、救援活動や物資配送を妨げていた。

ITUにより展開された携帯ターミナルは、被災地へ陸路と空路で輸送され、被災者救援に当たる政府や人道的救援機関による救援活動の円滑化を促進した。

⑥ ITU-T e-Flash Issue No.34

(出展：<http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/index.html>)

● WTSA-08、初のアフリカで

WTSA-08 a first for Africa

世界電気通信標準化総会 (the World Telecommunication Standardization Assembly: WTSA) が、2008年にア



フリカで開催されることとなった。本会合は、4年に1度開催されるもので、ITU標準化部門（ITU-T）の将来の方向性が決定される。

● ICANNへITU役員

ITU board member for ICANN

ITU電気通信標準化局の副局長Reinhard Scholl氏が、ICANN（Internet Corporation for Assigned Names and Numbers）の役員に就任した。

● ICTs and Climate Change

ICTと環境変動

ITUは、“Symposia in ICT's and Climate Change”の論文及び講演者を募集している。このシンポジウムは、本年4月15日と16日には京都で総務省の招請により、また、6月17日と18日にはロンドンでBTの招請によって開催される。

● Event brings together ICT and motor industries

ICTと自動車業界の共同イベント

ITU、ISO、IECは、the World Standards Cooperation（WSC）として共同作業を行っているが、本年、ジュネーブのモーターショーにおいてワークショップ及び展示会を開催し、Fully Networked Carを発表する。

● Common alerting protocol becomes ITU-T Recommendation

共通警報プロトコルがITU-R勧告に

異なったシステム及びアプリケーション上に同時に警報メッセージを发出する技術が、ITU-Rの勧告として承認された。

● First global set of standards for IPTV

IPTV、初の国際標準

2007年12月、ITUは、IPTVの最初の国際標準を発表した。この標準は、ICT関連の主導的サービスプロバイダ及び製造業者からの技術的貢献により作られたもので、IPTVの標準化の世界的リーダーとしてのITUの役割を強固にするものである。

● Standard to inform next of kin in emergency

緊急連絡先が判明する標準

2008年5月、事故等の緊急時にけがをした本人の携帯電話の電話帳から近親者（または、他の緊急連絡先）が判明できるようにする標準が、SG2により承認手続に入った。

● Being there without going there with telepresence

ITU-T、テレプレゼンスに関する報告

新技術であるテレプレゼンスは、従来のテレビ会議とは異なり、次世代ネットワーク（NGN）に高精細テレビ、音響システムなどを接続し、世界中の会議室を遅延なくトランスペアレントにつなぐもので、会議の相手が、まるで反対側の会議卓に座っていると錯覚してしまうようなシステムである。

● DSL and PON: energy saving techniques

DSL及びPON: エネルギー節減技術

ITU-Tの気候変動問題に関する活動の一環として、SG-15は、2月会合において、エネルギー節減技術に関する講演会を開催する。